

レインボーリボンの「いじめ防止教室」

小学校高学年

4コマの授業をほぼ1週おきに実施するケース

1コマ目 全クラス一斉授業「自分を守る」

いじめ防止の原点は「自分の気持ちを大切にすること」です。
お天気マークを使って「自分の気持ち」を知ること、表現することを学びます。
嬉しい・楽しい・悲しい・怒り、どの気持ちも大切にしようと呼びかけます。
怒りのコントロールを意識づけます。



2コマ目と3コマ目 休み時間を挟んで連続で行います。 各クラス毎の授業「加害者理解」

いじめって何だろう、いじめっ子ってどんな子だろう。
なぜ「いじめ」をするんだろう。どうしたら加害行為をやめられるだろう。
グループワークを中心に子ども自身が考えます。



4コマ目 各クラス毎の授業「自己尊重とコミュニケーション」

被害者、加害者、傍観者の3者が、それぞれがどう行動を変えるべきか考えます。
自分を大切にしながら相手も尊重するコミュニケーションの方法を考えます。

子どもたちの反応

レインボーリボンの「いじめ防止教室」では、授業を始める前に

- ① 自分を大切にしよう。席に座っていられなかったら退席しても良い。
- ② 友だちを大切にしよう。友だちの邪魔をして授業を受ける権利を奪わないで。
- ③ みんなが行動を変えれば「いじめ」はなくせる。授業に積極的に参加してください。
——と伝えます。

この授業で課される課題は「自分の気持ちと向き合う」ということ。

「悲しい」「苦しい」「怒り」といったマイナスの気持ちを表現することをあきらめ、うつむいていた子、本当の気持ちとは裏腹に無理に笑顔を作っていた子、表現の仕方が暴力的になってしまっていた子、・・・様々な事情や背景を持つ子どもたちがいます。

私たちは授業が終わる度に、顔を上げて笑顔を見せてくれる子、気持ちを打ち明けてくれる子、目を輝かせて授業に取り組んでくれる子に出会えています。